エルム第47号
発　行/社会医療法人
北楡会 札幌北楡病院
編　集/広報委員会
責任者/玉　置　　透
発行日/平成23年11月29日

社会医療法人の認可にあたって

皆様、今回も当院広報誌エルムをお手に取って頂き、誠に有り難うございます。今号は、当院が目指している「より社会性の強い、より社会に貢献できる病院を目指して」という大きなテーマの実現に一歩近づいたと思われる出来事について、ご報告したいと思います。

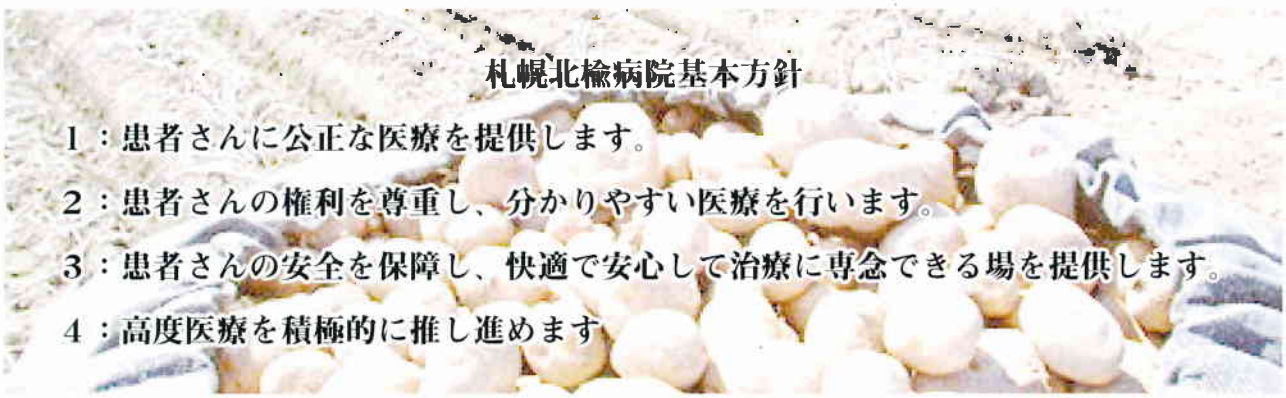
当院は、1985年（昭和60年）1月16日に100床の急性期病院、札幌北楡病院として開院しました。その3年後の1988年（昭和63年）7月に222床へ増改築を行い、1994年（平成6年）には医療法人北楡会を設立しました。その後、より社会性の強い病院を目指して、2001年（平成13年）には特定医療法人北楡会　札幌北楡病院に改組しました。即ち、一個人病院から、より公的性格の強い法人になった訳です。その後も患者さんや社会のために貢献しようと、2003年（平成15年）にはICUを除く全ての病室を、バス・トイレ付きでしかも差額室料無料の部屋に改装しました。また、同時に全館（敷地内）禁煙を実施しました。更に、2010年（平成22年）夏には全個室にエアコンを標準装備しました。勿論この間も医療レベルの向上を図るために、造血細胞移植センター、人工臓器治療センター、消化器病センター、小児科病棟の開設・充実、低侵襲外科手術（腹腔鏡下手術）の導入等を積極的に行って参りました。

そんな矢先に、国が新たな医療法人制度を始めることになり、より社会に貢献している医療法人をこれに認定することが決まりました。それが、社会医療法人です。

当院も認可条件の一つである、へき地医療への貢献を目指し、職員一丸となって実績作りに邁進してきました。この度その実績が認められ、2011年9月1日から社会医療法人の認可を受けました。

これまでも、より公的性格の強い病院として頑張って参りましたが、これからは一層社会に対する責任が重くなったと受け止めております。今後も患者さんの治療や地域医療の充実のために、その責務を果たして参りたいと考えております。皆様のますますの叱咤激励をお願い申し上げます。

札幌北楡病院　院長　目黒　順一



病院紹介シリーズ

化学療法の最近の知見③――骨髄異形成症候群に関連して

骨髄異形成症候群（MDS）は、血球の減少と形態異常（異形成）（図1）を特徴とする進行性の血液疾患です。

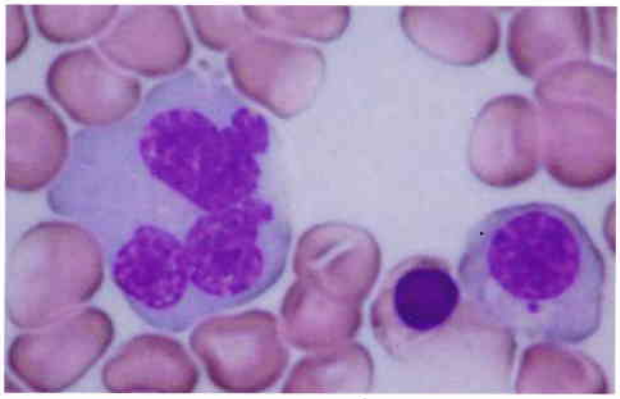


図1　異形成のある赤芽球

中高年層に好発しますが、若年者にも発病することがあります。血球減少が進行し致命的な感染症・出血を併発することがあり、白血病を発症する場合もあるため予後不良の疾患とされています。

原因は不明ですが未分化な血液前駆細胞に遺伝子異常が起き、病的クローンと呼ばれる異常細胞が出現し、骨髄で増殖することにより正常な造血ができなくなり発病すると考えられています。

MDSはいくつかのタイプに分類されています。
①骨髄の芽球（白血病細胞を含む幼若細胞）（図2）の割合の多い場合
②不良核型とよばれる染色体異常をもつ場合
③輸血を頻繁に必要とする場合

これら全てのタイプが備わっていると、感染症・出血を発症しやすく、白血病への進行も多いため高リスクとされています。逆に備わっていない場合は低リスクあるいは中間リスクとよばれ、病状があまり進行しない場合もあります。

従来、MDSに対する薬物治療としてはサイトカイン療法、分化誘導療法などのほか、白血病へ進行する例では抗がん剤を用いた化学療法も行なわれましたが、病状の改善あるいは生存期間の延長が困難なことが多く、新しい治療法の開発が望まれてきました。

その中で最近、新たにMDSに対する治療薬としてレナリドミド、アザシチジンなどの新規薬剤が本邦でも保険適応となり、従来の治療では望めなかった効果が期待されていますので今回紹介します。

1）レナリドミド（レブラミド®）

サリドマイドの誘導体として開発された内服薬で、多発性骨髄腫にも使用される薬剤です。

サリドマイドと同じようにRevMateと呼ばれる薬剤管理システムのもとで投与されています。

欧米ではMDSの10-20％に5番染色体長腕の欠失（5q-）とよばれる染色体異常を認めます（日本ではもっと少ないようです）が、レナリドミドはこの5q-をもつMDSに適応が認められています。

このタイプのMDSは貧血を主症状とすることが多く、輸血が必要となる場合も少なくありません。低～中間リスクで輸血が必要な5q-MDSの症例を対象とする海外での臨床試験において、レナリドミド投与により輸血量が減少できるか

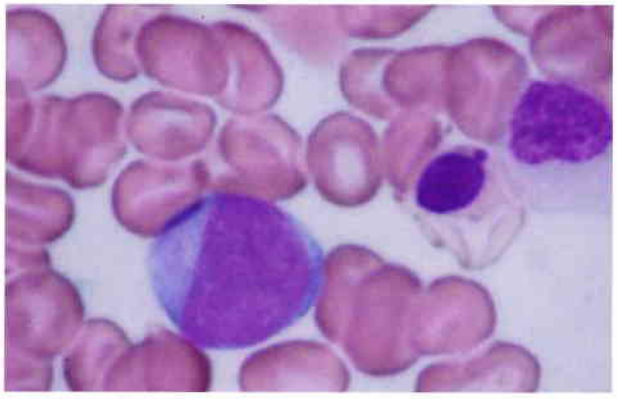


図2　骨髄の芽球

どうかが検討されました。

試験開始後、輸血を26週以上必要としなくなった割合を検討すると、プラセボ（偽薬）投与例で約6%であったのに対し、レナリドミド投与例では約40～50%台であり、有意にレナリドミド投与例では輸血量が減少していました。

通常の1コースの治療は3週間薬剤を服用し、1週間休薬というサイクルで行なわれますが、有効例では概ね3コースまでに効果が認められました。また、以前の研究でも認められていた染色体異常の減少あるいは消失（細胞遺伝学的反応）が、低用量で25%、高用量で50%の症例で報告されています。

副作用としては、血球減少、感染症、皮疹、静脈血栓症などがあげられます。

現在は5q-をもつMDSに保険適応が認められていますが、海外では5q-MDS以外にも有効であったとする報告もなされているため、今後適応の拡大される可能性があります。

2) アザシチジン（ビダーザ®）

もともと抗がん剤として開発された注射薬ですが、がん細胞の分化を誘導する作用があることからMDSに対する治療効果が検討され、2002年に発表された米国の研究で有効性が初めて示されました。

この研究では低リスクから高リスクMDSあるいは白血病も対象に含まれていましたが、支持療法のみを行なった92例とアザシチジンを投与された99例の比較が行なわれました。

完全寛解、部分寛解、造血回復についての比較では、支持療法例ではそれぞれ0%、0%、5%でしたが、アザシチジン投与例では7%、16%、37%と優れており、白血病への移行を起こさずに生存する割合もアザシチジン投与例で増加していました。

また、高リスクのMDS症例のみを対象とした別の臨床試験では、アザシチジン投与179例と三種の標準療法179例（①支持療法のみ、または②低用量化学療法、または③通常の白血病に対する化学療法）の比較が行なわれました。

その結果は、血液学的寛解率はアザシチジン29%、標準療法12%、完全寛解率はアザシチジン17%、標準療法8%、輸血不要となった例はアザシチジン45%、標準療法11.4%、2年の全生存率はアザシチジン50.8%、標準療法26.2%とアザシチジン投与例の成績が有意に優れていました（図3）。

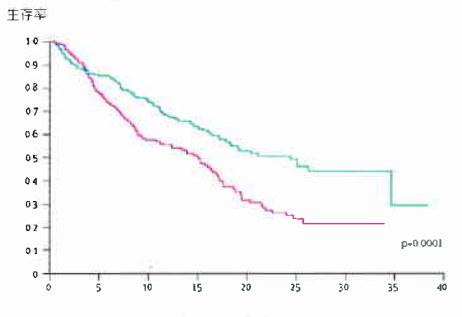
アザシチジンの重大な副作用としては、血球減少、感染症、出血、尿細管アシドーシス、低血圧が認められており治療時注意が必要です。

一般的な投与法は、7日間連日皮下注射あるいは点滴静注した後、21日間休薬するというサイクルを1コースとし、これを繰り返します。

治療効果の出現まで4から6コースの治療が必要とされています。

MDSは、薬物治療に対しては難治性、予後不良の疾患とされてきましたが、新規薬剤が使用可能となり、さらに今後も新たな薬剤が登場してくることが予想されています。今後、これらの薬剤を中心としてMDSの治療成績が向上していくことが期待されています。

図3 — アザシチジン群と — 標準治療群の全生存率



Fenaux P. Lancet Oncology (2009)

内科・血液内科　統括診療部長
小林　直樹

ボランティアイベントレポート

平成23年8月16日

佐東景サマーライブ2011

8月なのにあいにくの雨で会場はすこしひんやりした会場を、シンガーソングライターの佐東景さん、ピアノの石澤佳子さんは軽快なトークと素敵な演奏で温めてくださいました。患者さんも自然と足でリズムをとったり手拍子されたりと、とても楽しんでいただけたようでした。会場を後にする皆さんの顔が晴れの日のようにほころんでいたのが印象的でした。

小児科病棟でも心あたたまるひとときをプレゼントしてくださいました♪佐東さん、石澤さん、本当にありがとうございました！

●佐藤景プロフィール

札幌出身。1992年、大学の同期、大橋光寿とヴォーカルユニット「mosaique」結成。卒業を契機に活動停止。2002年「佐東景」solo活動開始。2005年『kei's works #1 monotone』、2006年4月25日『kei's works #2 One way』リリース。医療系専門学校で教員として勤務する一方で、地元札幌を拠点に楽曲制作、ライブ活動を行う。

平成23年9月27日

音楽で元気になろう会 Presents♪

秋のミニコンサート♪

透き通った秋晴れの中、たくさんの方々にお集まりいただきました。

はじめに小倉誠さん、鈴木英孝さん、坂東忠直さんによるハーモニカ三重演奏では、秋のメドレーや懐かしの名曲を演奏して頂き、患者さんも一緒になって唄ってくださいました。

続いて小原博之さんによるサックス演奏をしっとりと聴かせてくださいました。最後は鈴木さんによる歌で、小原さんのサックスと一緒に披露してくださいました。さらに「アンコール！！」と声が上がりもう一曲♪会場が一体になって、皆さん、秋のひとときを楽しく過ごしていただけたようでした。

「音楽で元気になろう会」は、平成20年4月に立ち上げられた小規模の芸能ボランティアグループで、「唄う門には福来たる」をモットーに、主に病院や介護施設などのデイサービスで活動されています。今回は、当院に通院されている患者さんからご紹介いただき、快く引き受けてくださいました。本当にありがとうございました♪

平成23年10月14日

山本秀樹ミニリサイタル

テノール歌手山本秀樹さんと、ピアニスト川本彰子さんにお越しいただきました。

歌が始まると、おおっ！と言う感じでみなさん聞き入っていらっしゃいました。会場中に響き渡るやさしく力強い美声と、うっとりするようなピアノの音色に感動が止まりませんでした！

小児科病棟では、コミカルな曲や本格的な曲を披露してくださり、間近で体感する迫力の歌声に、わあぁ！と歓声が上がりました。わかりやすく曲紹介もしてくださり、貴重な音楽の授業になりました♪山本さん、川本さん、こころよくお引き受けくださりありがとうございました。

●テノール 山本秀樹プロフィール

北海道教育大学札幌校（特音）卒。49～56年リサイタル開催。二期会喜歌劇「天国と地獄」でデビュー。以後、数々のオペラに出演。平成2～17年リサイタル開催。現在、札幌市立栄南中学校教諭。ヴォルフ協会、L·Cアルモーニカ会員。

●ピアニスト 川本彰子プロフィール

桐朋学園大学卒業。日演連主催新人演奏会で札響と共演。道内各地で室内楽の演奏会に多数出演。現在、北海道桐朋会、星音会、北海道フーゴー・ヴォルフ協会各会員。

外来診察担当一覧

（平成23年11月10日現在）

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科 血液内科	小笠原 今井 太田 皆内 今野	小林(直) 木山 井端	木山 平野 今井 山川 江端	中田 嶋 ※1今井	小林(直) 小笠原 中田 井端	今井 佐賀	小林(直) 太田 中田 嶋	平野 江端	木山 平野 今井 佐賀	皆内 山川	交代医師
消化器内科	工藤 星野	川村 片桐	髙野 佃	工藤	工藤 長佐古	川村 星野	工藤	工藤 ※4	川村 片桐	髙野	
免疫療法 (完全予約制)		今井		小笠原		太田		小笠原 今井		小笠原	
糖尿病代謝内科					澤村		澤村		澤村		
腎臓内科	伊藤					伊藤	伊藤		伊藤		
循環器内科					横山		儀間				
					※5(隔週で午前／午後どちらかの診療となります)						
外科	玉置 坂田	目黒	米川 古井/飯田 (隔週交代)	久木田	目黒 堀江	水戸 後藤/谷 (隔週交代)	小野寺 土橋	坂田	久木田 ※6堀江	玉置	交代医師
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9:30～) (※2)						三浦(9:30～) (※2)				
整形外科	東 髙橋		東		髙橋		東		髙橋		
小児科	安田 小林(邦)		小林(良) 小林(邦)	小林(邦) 鈴木/佐野 (隔週交代)	安田 小林(邦)		※3 小林(良) (血液外来)		安田	安田 ※3小林 (良)	交代医師
スリープ外来			中尾				中尾				
ペインクリニック (完全予約制)					沼澤						
歯科 (完全予約制)	関口		関口		関口		関口		関口		関口

※1　内科：火曜日午後の今井医師は15:00～16:00セカンドオピニオン外来で完全予約制です。
※2　腎臓移植外科、泌尿器科は原則として予約診療になります。
※3　小児科：木曜日は血液外来・金曜日の午後は長期フォローアップ外来、セカンドオピニオン外来のため完全予約制です。
※4　木曜日午後工藤医師の外来は15:00～16:00までピロリ菌専用外来（予約制）です。
※5　循環器内科は診療時間が午前と午後隔週で入れ替わります。来院前にお問い合わせください。
※6　外科：金曜日午前堀江医師は9:30～11:30フットケア外来で完全予約制です。
◇　医師の都合により変更となる場合がございますので予めご了承ください。

〈外来予約　電話受付〉平日のみ　　午前　9時00分～12時00分
午後　13時30分～16時00分

予約専用電話　TEL 011-865-0201
注：歯科の予約は 011-865-0111（病院代表電話です）

- 予約の際に受診科、氏名、生年月日をお知らせください。
- 日曜日、祝日は診療をしていません。
- 土曜日は予約診療を行っていません。
- 予約がなくても診察を受けることができます。
- 診療の際に、前後の患者さんの状態で、多少時刻が変わることがあります。

Q ときどきレントゲン検査やCT検査を受けています。放射線を使っているようです。身体へ影響しないか心配です。

A

■はじめに

放射線をわかりやすく比較できるように量の基準単位をマイクロ（1／1000ミリ）に統一いたします。

次に「シーベルト」という単位についてご説明します。放射線には様々な種類があります。放射線の量が同じでも種類によって人体への影響は変わります。放射線の種類に関係なく人体への影響を表す単位が「シーベルト」です。量が同じでも種類によってこの数値は大きくなったり小さくなったりします。逆にシーベルトで表す量が同じの場合は放射線の種類に関係なく身体に対する影響は同じと考えてよいのです。これに／時とつくと一時間当たりの量と言うことになります。

1マイクロシーベルト／時が一年続くと26280マイクロシーベルトとなります。

■お答え

検査で使う放射線の量は胸部レントゲン写真で300マイクロシーベルトくらい腹部のCT検査で10000マイクロシーベルトくらいです。とても少ないので健康への影響はありません。

■解説

実は私たちは、宇宙からやってくる放射線や地球誕生の時から存在する空気中や様々な物質などの含まれる放射能から常に放射線を受け続けています。

その量は国や地域によって数十倍もの差がありますが、日本ではおおむね一日で6.5マイクロシーベルトくらいを被ばくします。これは0.27マイクロシーベルト／時になります。これを自然放射線と言います。（原子力発電所事故後に発表されている全国各地の放射線量は、この自然放射線を除いた量を発表しています。事故前は0.27マイクロシーベルト／時だったのにあの事故後は0.28マイクロシーベルト／時に上昇した。したがって増えた量は0.01マイクロシーベルト／時という具合です）

計算すると生まれてから80歳まで生きると約20万マイクロシーベルトの放射線を受けることになります。

この量の放射線を一瞬で浴びると数％の確率で健康に影響を受ける人が現れると言われています。

私たちの身体は約60兆個の細胞でできていてほとんどは次から次へと驚くほどの速さで生まれ変わり入れ替わっています。

でも個性も顔もずっと同じなのは生まれ変わる細胞がすべて同じ個人情報を受け継いでいるからです。

細胞は生まれ変わり増えるため分裂を繰り返します。ある決まった時期にその個人情報の部分にたまたま放射線が当たるとその部分が壊れてしまいます。

ふつうは元通りに修復されたり、その細胞が消滅したりするのですが、場合によっては修復されずにないでまちがったまま増えていき何年も何十年もずっと後になって私たちの身体に影響が出てくることがあるのです。

先ほど一生で浴びる自然放射線の量をご説明しました。大きい値なのに全く健康に問題にならないのはどんどん新しい細胞へと置き換わっているからなのです。

放射線の身体への影響の種類は被ばくした量で二つに分けられます。

一つは核爆発やチェルノブイリの原子力発電所事故の内部での作業員、日本でも1999年に発生した東海村の臨界事故など一度に多量の放射線を浴びてしまった場合です。

このような100万マイクロシーベルト以上の多量の放射線を一瞬で浴びてしまった場合はその量に応じて（多少の個人差はありますが）誰でも同じような影響がでてきます。症状は被ばくした量に応じて直後から数カ月の間という短時間で現れます。

もう一つは、もっとずっと少ない、たとえば医療で検査に使用するくらいの放射線を受けた場合です。

これは多量に放射線を受けたときと違って、必ずおきるのではなく、ごく僅かに「もしかすると何か影響がある可能性がある…」という「運」のようなものです。

障害が発生する確率も放射線を浴びれば浴びるほど量に応じて増えるというわけでもありません。世界中で研究がおこなわれていますがまだ解明されていません。

このごく少ない放射線量というのは自然に受ける放射線の10000日分を一度に浴びた位までを言います。

ですから検査で受ける放射線の量はたびたび検査をしたとしてもこの範囲に入るとても少ない量なのです。

飛行機に乗ると宇宙からの放射線を遮る空気が薄くなり被ばく線量が多くなります。胸部写真一回の被ばく線量は成田からニューヨークへ行く時の被ばく線量と同じくらいです。しかも絞り装置が付いていて放射線は撮影する部分にしかあたりません。

横でタバコを吸っている人がいる。お酒を飲みすぎる。自動車を運転する。こういうことの危険度と比較するとずっとずっと小さいのです。しかしまだ研究が足らずにわからない部分も多いので無駄な放射線を浴びないように注意することはとても大切です。

札幌北楡病院　診療放射線技術部　技師一同

中学生の職場体験授業がありました

札幌幌東中学校では授業の一環で「興味を持っている職場を自分の目で見る」職場体験を行っています。今年は初めて2年生4名の生徒さんが、病院の看護業務の見学に来てくれました。

現場の看護師さんに話を聞いたり、病院の中を回りながら病院で働く色々な職種の紹介も受けました。専門の仕事が全く違うのに、患者さんの下ですべての職種が協力し合っていることなど、病院がどのようなところかを感じてもらえたようでした。

「看護師になって嬉しかったこと、つらいこと、やめたいと思うことはありますか」「どのような人に看護師になってもらいたいですか」など、たくさん質問をしてくれました。

消防署や警察署、保育園など数ある体験先から病院を選んでくれたということで、将来はぜひ看護師さんを目指してほしいなと思いました。（2011年11月1日）

この部屋はバイ菌がいないんだよ

感じたことを感想文にまめておこうっと

あとで私たちも見てみたい

MRIの磁気ってこんなに強いのか！

なるほど、むずかしいな、おもしろそうだな

●当院では診療録の開示、提供を行っています。ご希望の方は開示の方法など職員にお尋ねください。

●こうして欲しい！どうしてなの？ご意見お寄せ下さい。

【ご意見箱設置場所】

東棟：外来外待合室、公衆電話コーナー、1病棟デイルーム、2、3病棟ナースステーション

西棟：AOC前、5病棟デイルーム、6、7病棟ナースステーション

社会医療法人北楡会　**札幌北楡病院**

診療科目：外科・腎臓移植外科・内科・血液内科
消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科
循環器内科・泌尿器科・小児科・整形外科
麻酔科・放射線科・歯科

住　　所：札幌市白石区東札幌６条６丁目５番１号
TEL：011(865)0111・FAX：011(865)9634

交　　通：地下鉄白石駅５番出口から環状通り
北の方へ徒歩５分左手

ホームページ：
パソコン　http://www.hokuyu-aoth.org
ドコモ　http://www.hokuyu-aoth.org/i
ａｕ　http://www.hokuyu-aoth.org/ez
ソフトバンク　http://www.hokuyu-aoth.org/v